

白山石川医療企業団だより

平成31年
新春
特別号



公立松任石川中央病院
健康増進センター



公立つるぎ病院
ショートステイつるぎ

“健康増進センター”
誕生へ

これまでも そして これからも

白山石川医療企業団



公立松任石川中央病院



公立つるぎ病院

トップメッセージ

年頭のご挨拶

白山石川医療企業団
として新たな10年に
向かって



白山石川医療企業団
企業長 八木 雅夫

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

みなさまには常日頃から多大なご支援を賜り、また、昨年公立松任石川中央病院創立70周年記念事業には格別のご理解を頂き、誠に有り難うございます。

白山石川医療企業団は、機能の異なる2病院、公立松任石川中央病院と公立つるぎ病院を運営しています。それぞれの病院が高度の医療機器と専門性の高い職員を擁し、高度な医療レベルを保持していますが、これを持続させるためには、公立病院といえども、経営の効率性が欠かせません。

病院の組織は、大きく分けると、診療・看護・医療技術と事務管理の4部門から構成されています。当医療企業団でも、2病院に個別に各部門を構成していますが、各々の職員の配置は施設基準を優先しており、必ずしも運用上の効率性を考慮したものではありません。

医療企業団移行後10年を経過し、新たな10年に向かつての最初の年となる平成31年の年頭に際し、改めて、両病院の各部門の構成と機能を見直し、医療企業団としてこれまで以上の効率化を達成することで、医療の持続性をより強固なものにしたいと念じています。旧に倍するご理解とご支援をお願い申し上げます。



10年先を見据えた
「地域医療安心安全
プロジェクト」
公立松任石川中央病院
病院長 谷 卓

謹んで新春の祝詞を申し上げます。
昨年は当院創立70周年にあたり、関係各位の多大なるご尽力のもと記念イベントをつつがなく開催することができました。あわせて当院の過去、現在そして将来像を綴った記念誌も発刊させていただきました。心より御礼申し上げます。
さて、当院は今年度、10年先を見据えた「地域医療安心安全プロジェクト」構想の策定に入りました。一年先も見通せない激動の時代ですが、常に大きな目標に向かつて二歩一歩着実に「進化」していきたいと思っています。目指すは医療企業団の枠を超えた地域の連携拠点、いわゆる「ハブ機関」です。まずはプロジェクト第一弾として今年春に、健康寿命の延伸に寄与すべく、健診事業と連携する「健康増進センター」を開設します。地域の方がいつまでも自立した日常生活を送れるよう支援させていただきます。
本年は改元の年です。日本では新時代に突入する訳ですが、日本のみならず世界にとってもより良い時代となるよう願うばかりです。
本年もみなさまのかわらぬご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



オンライン診療の
本格稼働へ
「継承と変革」の実践
公立つるぎ病院
病院長 高澤 和也

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年は平成最後の亥年になります。昨年は豪雪地震に加えて集中豪雨と自然災害に見舞われた年でした。特に北陸では、この豪雪により交通機関をはじめ都市機能が止まりかけ医療も然りです。この点を踏まえ、白山ろくをはじめとする遠隔地であっても医療が継続して行えるように、公立病院初のオンライン診療科を立ち上げ今年には本格稼働を予定しています。また、「ショートステイつるぎ」もみなさまに活用していただいております。
当院は急性期をはじめとして四つの機能を持つ病棟を有しており、院外に目を向けますと通所リハビリや在宅療養支援センターなどで対応しています。ここで重要なのは「入院か外来か」「医療か介護か」という区別ではなく、患者さんや住民のみなさまがどこでどのように生活されようと、その人の尊厳を保つていただける「貫いた医療介護を行う事」と考えます。みなさまの大切なページに我々スタッフがどの場面においてか、関わらせていただければこの上ない幸いです。某所を見学した際に、継承と変革という言葉がありました。この地区と当院及び白山石川医療企業団の良き伝統は継承し、さらなる信頼を得られるような変革を職員が一丸となつて行っていく所存です。
本年も従来にもましてご支援ご指導をいただき、みなさまにとって幸多き年となりますことをご心より祈念いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

公立松任石川中央病院 創立70周年記念事業の開催

昨年、公立松任石川中央病院は創立70周年と現在地移転30周年という大きな節目を迎えました。7月29日、それを記念したイベントを白山市松任文化会館にて開催、1,300人を超える来場者で賑わいを見せました。



当日は、地域に住むお年寄りから子供連れまで、幅広い年齢層の方々にご来場いただきました。そのお目当ての一つが、会場エントランスフロアで開催された健康フェアです。

医師や看護師、薬剤師などの専門スタッフが無料で相談に応じる相談コーナーのほか、骨密度や血管年齢、もの忘れチェックができる測定コーナー、手術支援ロボット「ダビンチ」の操作を体験できるコーナーなど、さまざまな企画が目白押し。普段、病院に足を運ぶことのない地域住民も、これらの催し物に興味津々の様子で、順番待ちに列をなしていました。また、当院で施す治療方法についてわかりやすく解説したパネル展示や、医療の基礎知識をクイズにした催しも行いました。

大ホールでは、70年の歴史を振り返るスライドとDVDを放映。地元出身者による金管アンサンブルの演奏で来場者の心が和んだ後、記念式典を開催。白山石川医療企業団の開設者

である2市(白山市、野々市市)1町(川北町)の首長や議会議長らの来賓からは、大きな節目を迎えた当院のさらなる発展に期待を寄せるコメントをいただきました。

そして今回のメインイベントは、タレントの西川きよしさんによる特別講演会。「人生は小さなことからコツコツと!!」と題し、自身の体験を基に健康な生活について面白おかしく熱弁。笑いあり、涙ありの内容に、来場者は聴き入っていました。

当院では近年、患者さんが遠方まで足を運ばなくてもよい医療・介護提供体制の構築に力を注いでいます。その取り組みを地域住民にわかりやすく説明する機会が、今回の70周年記念イベントであり、6年前から開催している市民公開講座なのです。

今後も、地域の医療機関・介護施設との連携を強化しつつ、安心して暮らすことのできる“まちづくり”に取り組んでまいります。



↑測定コーナーは長蛇の列が続いた



↑手術支援ロボット「ダビンチ」の操作を体験できるコーナーは人気が高かった



↑大ホールは1,300人を超える地域住民でいっぱいになった



↑地元出身者による金管アンサンブルの演奏に心が和む



↑西川きよしさんによる特別講演



↑医療企業団開設者である首長や議会議長らが来場した記念式典



↑病院の取り組みをわかりやすくまとめたパネルを展示

特集②

公立松任石川中央病院 総合健診センター増築 ～疾病予防と医療がコラボした”健康増進センター”誕生へ～

今年3月、公立松任石川中央病院の東側に、総合健診センターを増築します。ここでは、従来からの健診機能はもちろん、個別運動プログラムを実践するスタジオも完備し、疾病の検査から予防、管理にいたるまでの体制がより一層整うこととなります。その概要をご説明します。



増築棟は病院本館と空中廊下でつながっています



落ち着いた空間が広がっている
2階の健診待合室

1階は運動施設。採光豊かな空間で
快適に運動ができます

公立松任石川中央病院 健康増進センター メディカルウェルネス ダイナミック Hakusan 2019年3月4日グランドオープン

公立松任石川中央病院 総合健診センター1階

営業時間 10:00～22:00(土曜日・祝日10:00～18:00)

休館日 日曜日、夏季及び年末年始

※詳細は、今後、当院ホームページ等でご案内させていただきます。



←ヨガなど多彩なレッスンコースがあります



↑健康チェックや体力測定で無理のない運動を支援します



←カウンセリングを通じて、一人ひとりに合った運動療法を見つけます

運動療法を実践するため
健康増進センターを新設

当院では地域住民の健全な生活をサポートするため、従来から健診機能の充実を注いできました。PET/CTやMRI、超音波装置などの高度医療機器を配備している強みを活かし、通常の健診コースのほか、日帰りドックやPETがんドック、認知症ドックなど、さまざまなニーズに応えてまいりました。

その一方で、地域住民の健康志向の高まりから予約が殺到し、健診受診まで1年ほどかかってしまうという事態が発生。加えて、健診の結果、高血圧や糖尿病、狭心症などの生活習慣病が見つかったとしても、その改善のための運動療法を実践する機会と場所がなく、自立した生活を送るための支援体制の整備が喫緊の課題となっていました。

そこで、第六次増築工事の一環として、総合健診センターを拡張。病院だからこそ提供できる疾病予防・健康増進施設である健康増進センター「メディカルウェルネスダイナミックHakusan」をオープンすることにしました。

で、医師の診断を基に専門スタッフが的確なアドバイスを実施。一人ひとりに合った個別運動プログラムを提供することで、疾病の予防と管理を効果的に行えるようになっています。

近年の目覚ましい医学の発展により、私たちの平均寿命は飛躍的に伸びています。そこで大切になってくるのは、健康

医学的根拠に基づいて
健全な生活をサポート

病院東側の総合健診センター駐車場跡に建設中のこの施設は、地上2階建て。1階は主に運動施設になっており、医学的管理に基づいた個別運動プログラムの作成や健康チェック、体力測定のほか、ヨガやエアロビクスなどを行えるレッスンスタジオがあります。2階には健診待合室や相談コーナーなどを配置。病院本館と空中廊下でつながっているため、雨の日の移動も気になることはありません。

この施設が完成することで、2つの効果が期待されます。一つは健診機能のさらなる充実です。総合健診センターを拡張することにより、健診受付は一日あたり15人増の予約が可能となります。従来、受診まで長い間お待たせすることになっていましたが、その日程を大きく短縮することが見込まれています。

もう一つは医学的根拠に基づいた運動療法が実践できることです。生活習慣病は日々の運動不足が大きく関与していると言われていますが、運動を習慣化している方は少ないのが現状でしょう。そこ

寿命です。健康寿命とは、日常生活に制限のない期間を指すもので、平均寿命と健康寿命の差を少なくすることで、生活の質(QOL)を向上させることが可能になります。当院ではこの新たな取り組みを通じて、みなさまの明るく元気な生活を支援させていただきたいと考えています。



↑現在は3名の第二期受講生を受け入れ、引き続き地域医療に貢献する人材育成に努めています



←平成29年8月に石川中央医療圏の医療機関では初めて指定を受けた、看護師の特定行為研修。昨年10月1日に第一期生4名が修了しました



↑採血の順番待ちの状況を把握できるように、採血番号の表示システムを導入



←地域医療連携機関交流会では、情報共有や、意見交換を行い、より一層の連携強化を図っています



←「患者サロン」や「おかりや」の利用者、病院職員の有志による作品を展示した秋の作品展を開催

↓患者さんやご家族の憩いの場である患者サロン。定期的開催するイベントには、どなたでも参加できます



←病院創立70周年を迎えるにあたって、冊子「これからの10年を見据えた当院の役割」(写真右)、創立70周年記念誌「これまでもそしてこれからも」(写真左)を発売



↑心筋梗塞や心筋炎などによる心不全状態が進行し、心臓のポンプ機能が著しく低下した場合に、全身への血液循環を維持する目的で使用する大動脈バルーンポンピング(IABP)を昨年6月に更新し、循環器疾患の診療機能の一層の向上を図りました



↑患者サポートセンターでは、入院後から退院まで、患者さん・ご家族の意向をお伺いしながら、在宅、施設での生活、転院について相談支援を行っています

みなさまの健康な生活を支えるために①

公立松任石川中央病院の取り組み

当院は、地域医療支援病院と災害拠点病院という、地域の医療機関の中で中核的な役割を担う使命があります。そのため、当院ではソフト・ハードの両面から院内体制を常に見直し、最適な医療・介護提供環境を追求しています。その取り組みの一端をご紹介します。

医療と介護の絶え間ない提供体制の構築に注力

当院が推し進めている、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりを実現させるため、さまざまな活動に取り組んでいます。

一つ目は急性期医療の充実です。近隣に急性期病院が少ないという地域性を考慮し、高度医療機器を配備するように心がけています。手術支援ロボット「ダビンチ」、認知症の早期発見にも活用するPET/CTのほか、昨年6月には大動脈バルーンポンピングを更新。循環器疾患の診療機能の一層の向上を図りました。引き続き、がんや脳卒中、急性心筋梗塞などの疾病に対し、遠方まで足を運ばなくてもよい、地域完結型の医療提供体制構築に力を注いでいきます。

二つ目が、予防医学の徹底です。地域の中でいち早くPET/CTを導入し、がんの早期発見を手がけてきましたが、今年3月に総合健診センターを拡張。健診機能をさらに充実させるとともに、健康増進センターを新設することで、予防からその後の運動管理まで一貫した支援体制が整うこととなります。

三つ目が医療と介護のさらなる強固な連携です。病院に隣接する地域包括福祉支援センター「おかりや」は、サービス付き高齢者向け住宅や地域密着型特別養護老人ホーム、ショートステイなどの機能を併せ持ち、医療・介護一体型のサービスが受けられます。そのほか、災害拠点病院として、災害派遣医療チーム(DMAT)を複数編成。地震や台風などの非常時に地域の医療を絶やさない体制を築き上げていきます。

地域との連携を軸に迅速・正確な医療提供を実現

このような当院の医療・介護資源を有効活用するため、地域の医療機関や介護施設、調剤薬局などとの連携にも力を入れています。「まっとう連携くん」という地域医療ネットワークシステムを駆使し、近隣の医療機関が当院の高度医療機器を共同利用できるほか、その発展型である「いしかわ診療情報共有ネットワーク」に参画。患者さんの診療情報を共通IDカードで連携機関と共有することで、検査や処方などの重複などを防ぎ、迅速かつ正確なサービスが提供できるようになっています。

昨年、創立70周年を迎えた当院ですが、まだまだ発展途上だと考えています。これからも地域の基幹病院として、多様化するニーズに応えるべく、地域住民の安心・安全な生活を支える体制を構築していきます。



→入所中は体操や歌、ゲーム等の団体レクリエーションを取り入れ、めりはりのある一日を過ごしていただいています

←相談員が入所等の相談対応の他、「ショートステイつるぎだより」を作成し、施設の情報発信しています



→昨年4月、当院敷地内に開設したショートステイつるぎ



↑居室内は木目などの温かな色彩を基調とし、窓からは光が差し込みます



↑浴槽をまたぐことが難しい方、寝たきりの方にも湯船につかっただけの「機械浴」を完備



←必要のある方には、日常の動作に直結する生活機能訓練を行い、在宅生活を支援します

↓スマートフォンやタブレット端末に専用のアプリケーションをダウンロードし、ビデオ通話で診察を行います



→「白山市地域包括支援センター鶴来」では高齢者に関わる各種相談や「出前講座」を実施しています

↓共有スペースのフロアでは、利用される方が食事やレクリエーション活動を行います



→「特定行為」の研修を修了し、へき地医療を支える診療所看護師



公立つるぎ病院の取り組み

みなさまの健康な生活を支えるために②

当院は地域に根ざした病院として、従来より地域のみなさまから信頼され安心できる医療・介護・予防の一体的な「地域包括ケア」の実現を目指してきました。その中で、今年度は「ショートステイつるぎ」を開設、オンライン診療の体制構築、看護師の「特定行為」研修への参加など、多様化するニーズにあわせてさまざまな取り組みを行っています。

地域のみなさまの日常生活を支えるショートステイつるぎを開設

当院では、みなさまが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境を整えるべく、昨年4月に「ショートステイつるぎ」を開設しました。

増築されたショートステイ棟は3階建てとなっており、1階では平成29年4月から白山市より受託している「白山市地域包括支援センター鶴来」が、地域の高齢者支援の充実を図っています。2階・3階には合わせて21の居室とそれぞれの階に食堂、機能訓練スペースと浴槽を備えています。

病院に併設されていることで、医療依存度の高い方の利用も多く、体調が急変した場合でもいち早く対応できる体制が整っています。また、利用される方にはリハビリ職員と介護士が連携して生活動作リハビリを行い、ショートステイ利用後も身体機能が維持できるように支援を行っています。

開設から9ヶ月が経ち、現在は白山市だけでなく近隣の自治体にお住まいの方にも利用いただいています。自宅で介護をされているご家族の負担を軽減することで、住み慣れた地域で長く安心して日常生活が送れるよう、今後さらに医療と介護が連携し、在宅療養を支援していきたいと考えています。

さまざまなニーズにあわせたオンライン診療の実施

スマートフォンやパソコンを利用してビデオ通話などで診療を行う「オンライン診療」が平成30年の診療報酬改定で保険適用となりました。当院の外来においても、交通手段が無い方や診療困難な状況が発生した方で、継続的に外来を受診されている患者さんについて、専用電子端末を準備し「オンライン診療」の体制を整えました。昨年12月から試験的に実施しており、今後もさまざまな形で医療サービスの充実を図ります。

個々の役割をさらに発揮し地域を支える

看護部では今年度、吉野谷診療所に所属する看護師が「特定行為」（診療の補助として、看護師が行う38の医療行為）の中で「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の研修を修了しました。今後、医師が作成した手順書に基づき在宅の患者さんへの高カロリー・輸液の投与や栄養管理等を予定しており、地域のみなさまの生活を支えていきたいと思っています。

今後も、各職員が研鑽を積むことで役割をさらに発揮し、地域のみなさまの暮らしを支えるため邁進してまいります。

病院から施設、施設から在宅へ

～住み慣れた地域で安心して暮らせる“まちづくり”～



企業団連携 医療機関一覧

浅井小児科医院	金沢脳神経外科病院	下崎整形外科医院	つじ川内科クリニック	野々市よこみやクリニック	むとう小児科医院
あさがおクリニック	かわい小児科医院	しらお眼科	津田内科医院	はしもと内科クリニック	メディカルらいふクリニック
有川整形外科医院	川北温泉クリニック	新くりにつく	津山クリニック	ばんどう内科診療所	森 明弘クリニック
池田病院	川北こどもクリニック	新内科医院	てらしま内科クリニック	深江レディースクリニック	矢ヶ崎外科医院
いこまともみレディースクリニック	かわきた整形外科醫院	新村病院	ときわ病院	福留クリニック	安原医院
いのくち内科医院	河内うらた医院	すえよし整形外科クリニック	とみたクリニック	船木医院	やなぎ内科クリニック
今村耳鼻咽喉科医院	喜多内科医院	せいだクリニック	長尾医院	ふるさわ内科クリニック	やまかわ内科クリニック
井村内科・腎透析クリニック	北村内科医院	聖来美クリニック	ながしまクリニック	べんクリニック	やまぎしレディースクリニック
ういえ耳鼻咽喉科クリニック	患愛会 松南病院	だいもん内科・腎透析クリニック	なかでクリニック	ほりかわクリニック	山本クリニック
うえの整形外科	斉藤小児科医院	多賀クリニック	中村皮フ科クリニック	前田眼科クリニック	やまもと内科医院
うしむら眼科クリニック	さかえ内科クリニック	高田内科クリニック	なごみ苑	松任整形外科クリニック	吉光内科医院
岡村内科医院	真田医院	たけお皮膚科クリニック	なんぶこども医院	松葉外科胃腸科クリニック	米田内科医院
御経塚クリニック	さなだクリニック	ただなわ整形外科クリニック	にしかわクリニック	南ヶ丘病院	わかば内科クリニック
織田内科クリニック	サン問屋町クリニック	谷内科歯科クリニック	野々市こころのクリニック	みやうち眼科	わかばやし眼科クリニック
小野木医院	しおのやクリニック	ちくだ医院	ののいち産婦人科クリニック	みやた整形外科	渡辺耳鼻咽喉科医院
かがやきクリニック	嶋医院	千代野苑	ののいち白山醫院	三幸小児科医院	

(50音順)

白山石川医療企業団



私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために

- 期待にこたえられる良質な医療・介護に努めます
- 安心・安全で信頼される医療に努めます
- 切れ目のない包括的なケアに努めます

公立松任石川中央病院

TEL:(076)275-2222 / FAX:(076)274-5974



- 住 所 石川県白山市倉光三丁目8番地
- アクセス JR松任駅からバスが運行されています

地域包括福祉支援センター おかりや

地域密着型特別養護老人ホーム
ショートステイ
サービス付き高齢者向け住宅
TEL:(076)274-2000
FAX:(076)274-2151



公立つるぎ病院

TEL:(076)272-1250 / FAX:(076)272-3144



- 住 所 石川県白山市鶴来水戸町ノ1番地
- アクセス ・加賀産業道路「安養寺北」交差点より国道157号を白峰方向へ10分
・北陸鉄道石川線「鶴来駅」徒歩10分

吉野谷診療所



中宮診療所



白峰診療所



公立松任石川中央病院 業務改善発表会

[日時]平成31年2月3日(日)
13:30~16:00(予定)

[会場]白山市松任学習センター
コンサートホール
(白山市古城町305)

入場
無料

※無料シャトルバス運行
(公立松任石川中央病院~会場)

公立松任石川中央病院 総合健診センター リニューアルオープン記念 市民公開講座&内覧会

入場
無料

[期日]平成31年3月2日(土)

[会場]公立松任石川中央病院 総合健診センター
(白山市倉光三丁目8)

- ダイナミックHakusan 健康運動指導士 三井 外喜和さんによる健康ワンポイントレッスン
- 健康フェア(血糖値測定、血管年齢チェック、骨密度測定など)
- 健康増進センター 体験コーナー